

講義名	教養特講（起業・事業承継）			授業形態	
担当教員	岡田 恵実	開講期・曜日・時間	後期 木曜日 4 時限		
		単位数	2	履修開始年次	1 年生
				ナンバリング	

主題と概要

起業はみなさんにとって身近ですか？たとえば、「起業家」と聞くと、誰をイメージしますか？アマゾンやアップルなど世界的企業の社長でしょうか？日本であれば、ユニクロやソフトバンクの社長、古くは松下幸之助や本田宗一郎かもしれません。この人たちは間違いなくすごい起業家です。だとすれば、選ばれた特別な人たしか起業家にはなれないのでしょうか？答えは、No. です。実際には、起業は誰でもチャンスがあるのです。本科目では、さまざまな起業の形を示したり、実際のビジネスアイデアの作り方なども伝えながら、みなさんが起業を身近に感じて具体的なイメージを持つこと、そして、起業を将来の選択肢の一つと考えるきっかけをつくっていきます。会社の経営を後継者に引き継ぐ事業承継についても触れていきます。講義の中では、多くの事例を活用するほか、オンラインで身近な起業家や事業承継をした経営者に登場してもらう予定です。ディスカッション要素を取り入れながら進めていきます。

到達目標

1. 起業、事業承継（第二創業）とは何か、取り巻く環境を理解し説明することができる。
2. 起業や事業承継（第二創業）を実現するには何が必要かを理解することができる。
3. もし自分が起業すると仮定したとき、その起業アイデアを作ることができる。

提出課題

1. 今日の授業の学び
各自、「今日の授業の学び」（当該授業に関連した問いへの考え）をレスポンドで提出してもらいます。
2. 中間ミニレポート
中間期にミニレポートをレスポンドで提出してもらいます。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

個別でのフィードバックは行いません。授業の中でいくつか紹介していきます。

評価の基準

1. 出席、授業姿勢、各自で提出する「今日の授業の学び」 45%
 2. 出席及び「今日の授業の学び」の提出回数が過半数であることを単位取得の必須条件とします。
 3. 中間ミニレポート 15%
 3. 期末定期試験（レポート） 40%
- 期末定期試験（レポート）の提出を単位取得の必須条件とします。
- 評価項目の内容や評価割合を変更することがあります。その場合は授業及び講義連絡でお知らせします。

履修にあたっての注意・助言他

本授業は、起業や事業承継をしたい、関心のある学生はもちろんのこと、起業とはどのようなものかを知りたい学生にぜひ受講してもらいたいと思っています。新聞やTV、ネット等のニュースや記事等で、起業や起業家、事業承継に関する内容のものに積極的に触れてください。これらの自ら得た情報が授業で学んだこととつながり、意外と自分の身近なところに起業があるということを理解できるようになります。

教科書

.使用しない。

参考図書

その他

レジュメは講義連絡を通じて事前配布します。

授業計画

1. 起業とは？
2. 起業の実態
3. 起業を促進する制度、仕組み
4. 起業事例から学ぶ・地域での起業
5. 起業事例から学ぶ・ベンチャー
6. 起業事例から学ぶ・社会起業
7. 起業事例から学ぶ・女性起業、シニア起業
8. 起業事例から学ぶ・学生起業、複業
9. 中間まとめ
10. 事業承継とは？ 事業承継の実態
11. 事業承継とは？ 事業承継のポイント
12. 事業承継から始まる新事業（第二創業）
13. 自分が起業するとしたら？ 起業に最低限必要なこと
14. 自分が起業するとしたら？ 起業のアイデア創出
15. 全体まとめ

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

準備学習（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

予習では、毎回配布するレジュメを事前に読むとともに、関連する内容についてインターネット等で調べてみてください。
復習では、授業中に強調されたところを中心に、レジュメを読み返し、理解を深めてください。
予習、復習ともそれぞれ2時間を想定しています。

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

- ・起業や事業承継での新事業創出を学ぶことを通じて、新しい視点と豊かな発想から新しい価値を生み出すことを理解し、自身もそれができると信じていく。
- ・起業や事業承継とは何か、またこれらを取り巻く動向など起業等に関する傾向など基礎知識を身につけ、理解を深め、これをもとに起業等に関する課題と可能性について自ら提案ができる。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

授業中レスポンドを活用して、問いを出したり、意見集約等を行うことを想定しています。

実務経験の有無及び活用

実務経験あり
大学卒業後、国の中小企業支援機関を中心に20年超勤務してきました。
その中で、起業に関心を持つ人たちを増やす取り組みや起業支援、中小企業のコンサルティング業務などに関わってきました。
経済産業大臣認定・中小企業診断士。

備考
